

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1階

TEL：052-954-6722

FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17時



今年度の愛知県被災者支援センターは、下記のメンバーで運営します。
よろしくお願いします。



栗田 暢之



織田 元樹



南里 幸



向井 忍



戸村 京子



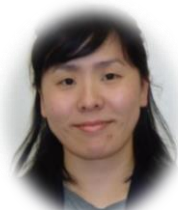
瀧川 裕康



石黒 学



森本 佳奈



渡邊 いくみ



原田 義明



榊原 春香



柿田 佳邦

＜表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています＞

あおぞらの表紙の絵を描いてみませんか？ 興味が湧いたらご連絡ください。

①絵のタイトル ②絵の説明（30字程度）③掲載するお名前 ④学年（年齢）⑤保護者の方の連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたはFAXにてお送りください。

＜発送作業のボランティア募集＞

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

5月10日号の予定			5月25日号の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	5月9日（月）	午後	封入作業	5月24日（火）	午後	
発送作業	5月10日（火）	午前	発送作業	5月25日（水）	午前	愛知県被災者支援センター TEL：052-954-6722（渡邊）

「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」①



＜執筆者の杉田貫志さん（右）＞

2011年3月11日。あの日、僕たちは震災の恐ろしさと命の大切さに、改めて気付きました。そして、僕たちの先輩の生徒会役員が「東北応援プロジェクト」を立ち上げ、いろいろな支援活動に発展させてきました。

愛知県に避難されている方々に手紙を送りする取り組みは、「震災の苦難を乗り越え、愛知県に避難をされた方々に、少しでも元気を出してもらえたなら」との思いから始まりました。今では、あま市内の17校の小中学校が参加する「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」の取り組みに育っています。あま市役所での贈呈の会では、毎年、避難者の代表の方から貴重なお話をいただきますが、僕たちの絵手紙がたくさんの方々に元気をお届けできていると知り、この取り組みは今後も続けていきたい



＜集まった寒中見舞いの絵手紙＞



＜絵手紙を手に集合写真＞

と思いました。

甚目寺中学校では、毎月の「人権タイム」を通して、さまざまな人権問題について学んでいます。毎年、「東日本大震災に伴う人権問題」にも取り組み、今年度は、夏休みに宮城県亘理郡山元町立山下中学校・坂元中学校の代表生徒を招待して交流会を開き、東北に対する関心を深めることができました。また、人権週間前の「人権集会」では、福島県から避難された2人のお母さんから話を聞き、震災から5年が過ぎても大変なことがたくさんあることを知り、避難された方々のご苦労を感じました。

僕たち中学生にできることは限られていると思いますが、これからも、「今できること」を考え、みんなで取り組んで行こうと考えています。



＜会の終わりに参加者と握手＞

(あま市立甚目寺中学校 生徒会長 杉田 貫志)

「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」②

子どもたちを育てているものは



＜執筆者の大野正志先生＞

甚目寺中学校では、人権教育を教育活動の根幹に据えて、日々の授業や学校行事に取り組んでいます。そして、毎月の「人権タイム」を通して、さまざまな人権問題について理解し、人権感覚を目覚めさせ、実践力と行動力を身に付けることができると考えています。

東日本大震災から日を置かず、本校の生徒会は募金活動に取り組みました。たくさんの募金に心を弾ませながらも、すっきりとしないものを感じている生徒がいました。生徒は、「わたしたち中学生にできること」を探し始め、たどり着いたのは文部科学省「子どもの学び支援ポータルサイト」の、被災地が希望する物資を直接支援する活動でした。生徒会役員が「東北応援プロジェクト」と名付けたこの取り組みは、被災された方々の「声が聞こえる」「笑顔が見える」活動で、生徒の人権感覚が刺激され、実践力と行動力を発揮し始めました。

震災から2年後、本校の生徒会は「愛知県



＜各校から代表して参加した児童生徒＞

被災者支援センター」と巡り会い、「愛知県に避難されている方に手紙を送ろう！」を企画し、近隣にお住まいの方々に13通の寒中見舞いの手紙をお送りしました。しばらくしてお礼の手紙が届き、生徒はその内容に強く心を動かされました。そして、翌年の夏に、県内の中学校10校の協力を得て103通の暑中見舞いの手紙を、冬には、あま市の全小中学校による「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」に取り組み、1,799枚の絵手紙をお送りすることができました。

昨年度、あま市の小中学校がお送りした絵手紙は3,701枚。「愛知県に避難されている方に寒中見舞いの絵手紙を送ろう！」の活動を通して、あま市の小中学生は人権感覚を高め、「わたしたちにできること」を考えて実践する力を身に付けてきました。こうした、あま市の小中学生の学びの原動力は、絵手紙を受け取っていただいた皆様からの「声」と「笑顔」だと思います。

(あま市立甚目寺中学校 人権主任 大野 正志)

あま市立甚目寺中学校 〒490-1111 あま市甚目寺二伴田 76

TEL : 052-444-0074 FAX : 052-444-1574 MAIL : chu_jimokuji@city.ama.ed.jp



お茶っこサロンなごや



＜2013 年 8 月 徳川美術館で貝合わせ＞

「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」は、名古屋市に避難されている方のため、2011 年 4 月に市が設置し、市社会福祉協議会と市内の災害ボランティア等で運営しているセンターです。

開設から 1 年が経った頃、今後の生活についての不安の声と合わせて「他に避難されている方がどのようにされているか知りたい」という声が聞かれるようになりました。それまで時折、区単位の交流会は行われていました。2012 年 8 月からは、全市挙げての交流の場「お茶っこサロンなごや」を始めました。名古屋を知っていただけるように、また、交通の便等も考え、会場は市内 16 区を巡回しました。名所めぐりも兼ねて、市政資料館や徳川美術館、名古屋港ポートビル、東山動物園など。市役所庁舎やゴルフ場を使わせていただいたこともありました。

プログラムも、東北名物の芋煮汁や名古屋



＜2014 年 3 月 東山動物園にて＞



＜2014 年 10 月 絞りで巾着づくり＞

名物のきしめん、餅つきなどの食を楽しんだり、ウクレレや絞りなどの体験、絵手紙や紙粘土、折り紙などの創作、マジックや大道芸鑑賞など、実に多彩です。多くのボランティアや企業、大学等のご協力のおかげで開催することができました。参加者の皆さんが笑顔で楽しく参加されているのを拝見すると、主催者の私たちも幸せな気持ちになります。

今年 3 月までの全 44 回の参加者は、のべ 500 世帯 1,100 名を超えました。いつか生活が安定された時に、頑張った名古屋での生活を思い出したくなるようなきっかけになればと思い、続けています。

2016 年度は 5 回程度の開催となりますが、その分、今まで以上に多くの方に楽しく参加いただける内容にしたいと考えています。今まで参加されたことのない方も大歓迎です。名古屋にお住まいの皆さん、「お茶っこサロンなごや」でお会いしましょう！



＜2016 年 1 月 餅つき＞

(名古屋市社会福祉協議会 東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや)

支援団体紹介（特定非営利活動法人 ボラみみより情報局）

「愛知県被災者支援センター」を運営する会議体に参加し、運営に関わらせていただいています。当団体は、一人ひとりが自ら社会問題の解決に取り組む社会を築くことを理念とし、ボランティアやNPO活動への理解と参画の拡大に取り組んでいます。日々の生活の中で、さまざまな社会問題を見聞きすることはあっても、身近なこととし

て捉えることができずにいる人も多いと思います。ボランティアの現場では、その活動の背後に必ず社会問題があります。実際に活動に参加し、そこで人と出会うことで、社会問題を自分事として意識し、社会課題の解決に取り組む意識を持つきっかけになると考えています。

【団体の発足】

1999年に活動を開始しました。当時、郵便局員だった代表の織田が、ボランティアをしたいと思った時にボランティアを募集している団体・施設に関する情報を見つけられず、実際に活動を始めるまでに1年かかるという経験をしました。そして、ようやく見つけた先では「ボランティアが足りない」という声がありました。そこで、ボランティアの求人情報誌の必要性を強く感じ、織田も含めボランティア4名で団体を立ち上げました。

【活動内容】

具体的には、ボランティアをしたい人とボランティアを必要としている団体をつなぐボランティア情報誌『月刊 ボラみみ』の発行・配布やボランティア情報サイト「みみライン」の運営などです。

（１）ボランティア情報誌『ボラみみ』

毎月11,000部発行し、名古屋市内を中心にスーパーや公共施設など約710箇所で無料配布しています。毎号20件程度のボランティア募集情報に加え、この地域で活動しているさまざまな団体・人の特集記事なども掲載しています。



＜発送作業の様子＞

ボラみみでは、さまざまな年代のボランティア約100名が、『ボラみみ』の編集や配達、イベントでの広報、ホームページの運営など、それぞれ

（２）「みみライン」

ボランティアのマッチングサイトです。常時100件以上のボランティア募集情報・イベント情報を掲載しています。また、ボランティアのマッチングイベントや、ボランティアマネジメント、広報などの講座の企画・運営もしています。



＜『月刊 ボラみみ』を持って記念撮影＞

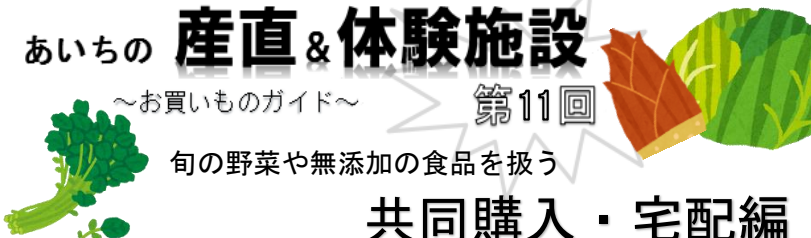
の得意なことや好きなことをいかして活躍しています。また、毎月の発送作業には多くのボランティアが集まります。

ボラみみより情報局 〒460-0004 名古屋市中区新栄町 2-3 YWCA ビル 6F

TEL : 052-228-7824 FAX : 052-228-7834



あいちの **産直&体験施設**
 ～お買いものガイド～ **第11回**
 旬の野菜や無添加の食品を扱う
共同購入・宅配編



今月号で紹介していない産地直売所・ふれあい体験施設については、県農林政策課が制作したインターネットサイト「あいちの農林水産産地直売所・ふれあい体験施設」でご覧いただけます。



地元で採れた旬の野菜や添加物を使わない安全な加工品などを扱っている共同購入会や会員制宅配をご紹介します。扱う商品については、放射能検査をして情報を公開しています。地元で採れた旬の野菜などを直接購入する地産地消や食の自給、遺伝子組み換えのない食品、伝統食や食育などの考え方に基づいていて、子育て中のご家庭では安心して利用できます。



食と環境の未来ネット

場 所： 名古屋市東区葵 1-14-3

連絡先： 052-937-5959

営業日時： 月～金曜日 9:00～16:30



牛乳・乳製品を中心に、安全な食品を求める共同購入会で、会員が自主的に運営する非営利団体。産地研修を通じて各地の生産者との顔が見える関係を大切に、確かな食品を扱っています。子どもたちの世代により安全な食べ物や環境を残せるよう、自覚ある消費者として学び考えながら活動しています。

<愛知県内の直売・共同購入・宅配のお店>

No	施設の名称	所在地・直売店	連絡先	QRコード
①	あいのう流通センター	豊田市平畑町東田 731 (直売店) 名古屋市天白区井口 2-903 (直売店) 知多郡東浦町緒川下出口 22-1	0565-65-2080 052-801-5993 0562-84-2351	
	生産者と消費者の「顔の見える関係」を目指し活動している。協同購入、注文制の宅配の他、直売店での販売も行っている。農業を通じて生活環境を考える。			
②	くらしを耕す会	名古屋市昭和区広路本町 4-2	052-851-7200	
	地元（愛知県内）で生産された季節の野菜を、それぞれの農家で箱に詰め、会員宅に個別宅配で届ける調味料や生活用品なども扱っている。木曽川流域の「流域自給」を目指す。			
③	にんじんCLUB	小牧市中央 2-246	0120-029-105	
	会員制の定期宅配システム。「畑と台所をつなぐ」をモットーに、国産を中心とした旬の食材や加工品、雑貨類を宅配によって販売している。エコロジーなライフスタイルを提案。			
④	土こやしの会	名古屋市中区大須 1-23-14	052-211-1774	
	有機野菜を中心とした食品の共同購入会。添加物に頼らない加工品やフェアトレード雑貨なども扱っている。農と食のつながりを作り出し、自分たちの暮らしを問い直す。			

● 施設のホームページからも詳細を確認いただけます。





旬のお出かけ情報



～ 花（名所） ～

新年度がスタートして 1 ヶ月が過ぎようとしています。新しい環境にも慣れ、少しずつ生活のリズムができてきた頃だと思います。疲れもではじめ、体調管理に気をつけながら過ごしている方もいます。天気の良い日は、気分転換に、いろいろな花を発見しに出かけられてみませんか？



PICK UP

東山植物園

場 所：名古屋市千種区東山元町 3-70

アクセス：地下鉄「星ヶ丘駅」6 番出口、徒歩 7 分

連絡先：052-782-2111



認定地域建造物資産にも認定された東山植物園合掌造りの家がおすすです。合掌造りの家では、以下のようなイベントを行っています。

- ・ 5/1(日) こどもと遊ぼう！
- ・ 5/2(月・祝) 東山講談席
- ・ 5/3(火・祝) カイコのまゆから絹糸とり体験
- ・ 5/5(木・祝) こどもの日としょうぶ湯について学ぼう！
- ・ 5/7(土) 自然素材を使った「親子で作る木工クラフト」

他にも、バラ園・温室・しゃくなげの森など見どころ豊富です。



<愛知県内の花の名所一覧>

No	名称・花	場所	アクセス	連絡先
①	浅野公園 (つつじ)	一宮市浅野字 八剣	JR「尾張一宮駅」・名鉄「名鉄一宮駅」 から名鉄バス「浅野公園」徒歩 1 分	一宮市経済振興課 0586-28-9131
②	森津の藤 (ふじ)	弥富市森津 14- 607	近鉄「弥富駅」からタクシーで 5 分	弥富市歴史民俗資料館 0567-65-4355
③	しゃくなげ遊歩道 (ほそばしゃくなげ)	新城市川合	JR「三河川合駅」から徒歩 60 分	新城市観光協会 0536-32-0022
④	岡崎公園 (ふじ)	岡崎市康生町 561	名鉄「東岡崎駅」から徒歩 10 分	岡崎市公園緑地課 0564-23-6250
⑤	竹島園地 (つつじ)	蒲郡市竹島町	JR・名鉄「蒲郡駅」から徒歩 15 分	蒲郡市観光協会 0533-68-2526
⑥	まんだらじ 曼陀羅寺公園 (ふじ)	江南市前飛保 町寺町 202	名鉄「江南駅」から名鉄バス「曼陀 羅寺」徒歩 2 分	江南市産業振興課 0587-54-1111
⑦	賀茂しょうぶ園 (花しょうぶ)	豊橋市賀茂町 字鎌田地内	JR・名鉄「豊橋駅」からタクシーで 約 30 分	豊橋市商業観光課 0532-51-2430

●その他の詳しい情報は、一般社団法人愛知県観光協会のホームページをご確認ください。



ボランティアスタッフ紹介 ～ 神田すみれさん ～

支援センターのボランティアスタッフになった経緯や今の思いを紹介していきます。
第3回は「せと・おせっかいプロジェクト※1」の神田すみれさんです。



東日本大震災が起こったとき、子どもは生後9か月でした。その翌年に2人目を出産しました。雨に濡れてはいけない、洗濯物を外に干してはいけない、粉ミルクはどのメーカーなら一番リスクが少ないかなど。考えすぎだと笑われることもある中、さまざまなことに慎重になる毎日でした。

「被災した方のために何かできることがないか？」という想いがある中、子どもの世話と日々を回すことで精一杯の毎日でした。震災から2年経った時、外国人被災者の方の支援という立場で、パーソナルサポート支援チーム会議（PS 会議※2）に参加する機会をいただきました。避難されている皆さまのお話を聞くたびに、もっと早くに動けていたらと思いましたが、今できることを精一杯させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

※1 セと・おせっかいプロジェクト・・・困りごとを抱えている人に寄り添い一緒に考えることにより、「自分はひとりではない」と実感できる社会を目指して活動。

※2 PS 会議・・・専門家などで構成され、避難者個々の実状に配慮し、一人ひとりの生活再建に向けた支援が行えるよう、隔週水曜日に被災者支援センターで話し合いを行っています。

支援センターからのお知らせ

<編集後記>

- ★息子が「中部こども囲碁大会」に参加しました。連勝して7つ級が上がり、とても喜んでます。毎月、被災者支援センター主催の囲碁クラブで教えていただいたおかげです。ありがとうございます。(Y.Y)
- ★ピースボート災害ボランティアセンターの「わが家の災害対応ワークショップ」を受講しました。被災した状況をイメージして考えるいい機会になりました。(J.I)
- ★季節の変化を知ることができるのは幸せなことなんですね。(H.I)
- ★避難して5年、春には春の花が咲く。ただそれだけの毎日に感謝です。(T.N)
- ★大豆から育て、自分のお味噌を作りたいとたくらんでいます。一緒にいかがですか？(E.K)
- ★エドヒガンしだれ桜を岡崎市奥山田町へ見に行きました。優美にユラユラ咲き誇るしだれ桜は、樹齢1300年。まだまだ私は若造だなと思いました。(Y.S)
- ★3月28日～29日の味噌作り1泊2日交流会に参加しました。たくさん作り、夏過ぎには食べることができるので、楽しみ～。(H.T)
- ★チェルノブイリ事故から30年のウクライナの子どもたちの絵画展は、素晴らしい絵ばかりでした。私たちはフクシマをどのように次世代へ伝承・記録していくのでしょうか？(K.T)

●5月のイベントの詳細は定期便に同封のチラシをご覧ください。

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら

〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階 愛知県被災者支援センター
TEL: 052-954-6722 FAX: 052-954-6993
Mail: aozora@aichi-shien.net

